

第三回「接合科学地球カフェ」OPENED！

📍接合研(日本)～阪大 ASEANキャンパス@マヒドン大学(タイ)～接合研ベトナムオフィス(ベトナム)

井上 裕滋¹・勝又 美穂子²

¹ 接合科学研究所教授

² 広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 国際人材育成部門 特任准教授(常勤)

2021年1月27日(水)、接合科学研究所 Studio JWRI(日本)と本学 ASEAN キャンパス@マヒドン大学(タイ)、そして当研究所ベトナムオフィス@ハノイ工科大学(ベトナム)の3カ国を接続した「接合科学地球カフェ」第3回目がオープンしました。「接合科学地球カフェ」は、より多くの学生に当研究所の活動を知ってもらい学生交流を活性化すること、及び海外大学との連携促進を目的とし活動しています。今回は初の本学 ASEAN キャンパスとの連携、初の3カ国接続による開催となりました。本学がマヒドン大学に設置している ASEAN キャンパスに滞在の日本語・日本文化教育センター特任助教 藤平愛美先生及びマヒドン大学 Ekkachai Warinsiriruk 教授の多大なるご協力の下、開催を実現することが出来ました。当日は3カ国より合計50名程がカフェに集いました。

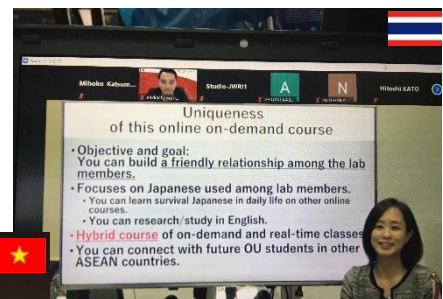
今回のカフェマスターは日本へ留学経験をお持ちで当研究所とも連携の深いマヒドン大学工学部 Ekkachai Warinsiriruk 教授でした。田中 学当研究所長より本日開店の挨拶に続き、マヒドン大学工学部副学部長 Yodchanan Wongsawat 教授より今後の連携への期待が述べられました。続いて今回のカフェメニューとして、当研究所 勝又美穂子特

任准教授より研究所の紹介、続いて同 佐藤雄二准教授より独自開発レーザによるアディティブ・マニファクチャリングについて、同 近藤研究室タイ出身博士留学生 Ammarueda Issariyapat さんからアディティブ・マニファクチャリングによる先進チタン合金材料の研究に係る発表が行われました。マヒドン大学からも2名の学生による研究紹介があり、続いて藤平特任助教より、遠隔による工学系日本語教育(留学前教育)に関する取り組み紹介が行われ、最後に当研究所 井上裕滋教授の挨拶により閉店しました。当研究所や本学の取り組み紹介に留まらず、最新研究の紹介も有り、大変充実したメニューとなりました。今回の地球カフェをきっかけに、多くのマヒドン大学学生が本学での研究に関心を持ってくれること、及び双方機関の一層の研究連携へ繋がることを強く期待します。今後も本学 ASEAN キャンパスとの連携により、各地域の大学との有機的な連携発展に取り組みます。

コロナ禍で発想された同カフェは、新時代のニーズに応えつつ、当研究所が従来から大切にしているアットホームな距離感を維持しながら、今後も様々な国へメニューをお届けします。



上：Studio JWRI から田中所長による挨拶



上：ASEAN キャンパス藤平特任助教

左：JWRI ベトナムオフィス 勝又特任准教授